

分科会名称：精神科遠隔医療分科会

分科会長氏名：岸本泰士郎

分科会長所属：慶應義塾大学医学部医科学研究連携推進センター

分科会長連絡先：tkishimoto@keio.jp

1. 分科会設立の目的

診療報酬獲得を含め、日本に広く Telepsychiatry の導入を行うために、研究活動の推進、さらに社会実装を目指した活動を行う。

2. 令和 7（2025）年度の活動の実績と成果

令和 6 年度診療報酬改定において、精神科領域での適用拡大・保険点数の拡張が行われたが、算定要件が厳しく、初診での実施は対象外となったことを踏まえ、日本精神神経学会に設置された医療 DX に関する委員会と連携し、精神科オンライン診療の適切な普及に繋がる規制の在り方などについてアンケート調査などを行なった。また、学術活動の面でも、メタアナリシス研究などを通じたエビデンス蓄積につとめるとともに、岸本が代表を務め当分科会メンバーも参加した厚生労働科学研究「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築における情報通信機器を用いた精神療法の活用に向けた研究」において、精神科遠隔医療の好事例収集や、ガイドライン作成などの研究活動を行なった。2026 年度の日本精神神経学会学術総会においても当分科会メンバーも参加した精神科遠隔医療に関するワークショップを開催予定である。

1) Fujikawa, M., Hagi, K., Kinoshita, S., Takamiya, A., Iizuka, M., Furukawa, S., ... & Kishimoto, T. (2025). Diagnosis and symptom assessment in telepsychiatry vs. face-to-face settings: A systematic review and meta-analysis. *Psychiatry and Clinical Neurosciences*, 79(9), 580-596.

3. 令和 8（2026）年度の活動の目標と計画

令和 8 年度診療報酬改定において、「情報通信機器を用いた精神療法」の初診において診療報酬上の評価が新設され、前年度までの活動目標は一部達成できている状況にある。しかし、算定要件が厳しく設定されていることなどを踏まえ、より適切な普及に向け、モデルケースの確立などを通し、より望ましい規制のあり方について政策提言を行っていきたいと考えている。また、精神科オンライン診療を適切に普及させていくため、臨床医向けの導入ガイドを共有していくことを通して、地域医療に貢献できる精神科オンライン診療のあり方について検討し、その実装の手助けを行なっていきたいと考えている。

